

北陸新幹線の高架橋見学会を開催

2023年の北陸新幹線金沢・敦賀間の開業を身近に感じていただくため、北陸新幹線高架橋工事見学会を赤井町地内で開催しました。

見学会は、8月22日、鉄道・運輸機構の協力のもと、市内在住の子どもとその保護者を対象に行われました。感染症対策のため、午前と午後の2回に分けて行われ、午前の部では19組38人、午後の部では12組24人が参加しました。



工事の説明を受ける参加者



北陸新幹線高架橋を見学する参加者（ドローンで撮影）

参加者は、検温や消毒、問診等を行った後、高さ16メートルの高架橋に上がり、約700メートルを歩いて見学しました。歩きながら、工事の説明を聞いたり、写真を撮ったりして、新幹線の県内全線開業に期待を高めていました。

また、9月5日には小松市との合同の見学会を行い、両市併せて30人余りが完成時には新幹線小松駅ホームとなる高架橋を歩いて見学しました。

行政証明書交付サービス対応コピー機を設置しました

市役所本庁舎市民ホールに行政証明書交付サービス対応コピー機を設置しました。このコピー機では、モノクロ、カラーのコピーを取ることができ、大きく、マイナンバーカードを利用し、申請書を記入することなく、市役所窓口で取得するより100円お得に住民票の写しや印鑑登録証明書などが取得できます。

9月16日、設置に併せてセレモニーを行いました。セレモニーでは、井出市長がコピーを取り、また市民の方が実際に証明書の発行を行いました。



証明書を発行した市民の方(中央)と井出市長(右)

献血成績優良団体として 能美市壮年団に感謝状

献血成績優良団体として、日本赤十字社石川県支部から能美市壮年団に、感謝状が贈られました。7月28日、石川県庁にて感謝状の伝達・贈呈式が行われ、水嶋能美市壮年団長が出席しました。

※10月8日(木) 13時30分から16時まで、市役所本庁舎で献血を行います。市民の皆さまのご協力をお待ちしています。



水嶋能美市壮年団長(左)と支部長の谷本正憲知事

新型コロナウイルス感染症対策のために 株式会社ヨネモリからご寄附

株式会社ヨネモリ(灯台笹町)から、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子どもたちや備蓄のために、現金40万円、米60kgおよび防災食のご寄附をいただきました。

8月26日、米森誠代表取締役社長が能美市役所を訪れ、寄附の贈呈を行いました。

米森社長は、「今回の寄附は、社員の気持ちも込められています。コロナの影響があった方にも少しでも届くよう願っています」と話し、井出市長は「子どもたちの安全安心のために、大切に使用させていただきます」とお礼を述べました。



米森社長(中央)と社員代表の岩淵さん(左)

浅田雅子さんが一日救急隊長を務めました

9月9日の『救急の日』と、この日を含む救急医療週間に併せて、「救急の日・一日救急隊長」を実施し、一日救急隊長を、飛込競技ソウルオリンピック日本代表で能美市観光大使の浅田雅子さんが務めました。

9月7日、能美市防災

センターで委嘱式が行われ、119番通報受信体験や胸骨圧迫、AEDの実技体験を行い、救急訓練では浅田さんが隊長役として参加しました。

一日救急隊長を終えた浅田さんは「もしものときに今回の経験を生かしたいです」と話しました。



救急訓練に参加する浅田さん

中学生が熱弁しました 加賀地区中学生意見発表大会

8月10日、第39回加賀地区中学生意見発表大会が寺井地区公民館で開催され、加賀地区の4市町から17名が出場しました。

今年はコロナ禍の中で、開閉会式や表彰式を行わず、自分の発表時のみ参加するという異例の進行になりましたが、生徒たちは身近にあった出来事から考えたことを中学生らしい鋭い感性で見発表しました。

能美市内3中学校からは、3名の生徒が参加し、堂々と自分の考えを発表していました。



中川和優さん(根上中学校)



山下谷唯さん(寺井中学校)



吉原和輝さん(辰口中学校)